

はじめに 社会科学の勉強法

1 テキストの内容をマスターする

教養科目は、大きく「一般知能分野（数的処理、文章理解）」と「一般知識分野（社会科学、人文科学、自然科学）」の2つに分かれます。

一般知識分野に分類される「社会科学」には、①比較の出題分野が絞りがやすい、②過去の試験で出題された内容が再出題されやすい、という特徴があります。これらの特徴は、一般知識分野の他の科目（人文科学、自然科学）よりも強く出ており、その意味で社会科学は比較的点ししやすい科目であると言えます。

これらの特徴を社会科学は有していることから、やはり「頻出分野」をしっかりとマスターすることが社会科学では重要です（この傾向は、国家公務員試験よりも、東京都や特別区、政令指定都市等の地方公務員試験のほうがより強いです）。

本書（本講座）は、社会科学のなかでも頻出分野に分類される出題内容を中心に扱っています。そこで、まずは本書の内容をしっかりとマスターするところから始めましょう。

2 問題集を追加すべきか？

受講生の方のなかには、本書の内容を比較的早く終了させてしまう方もいらっしゃると思います。そのような方は、例えば教養科目の他の科目や、必要となる専門科目、教養論文等をどんどん進めてしまいましょう。

他の科目の勉強もずいぶん進んでしまい、勉強時間にかなりゆとりがあるというのであれば、市販の問題集を追加で購入しチャレンジしてみるのもよいです。ただし「社会科学」は、時事（＝最新の情報、情勢）が関わる科目でもありますので、教材を追加で購入されるのであれば、新しいものを検討なさってください。

3 受験する自治体等の過去問集について

多くの方からいただくご質問として、「受験する自治体の過去問だけを集めた問題集（例：実務教育出版『過去問500』シリーズ）を購入すべきか？」というものがあります。

そのような問題集の取扱いについては、上記2でも述べたように、「まずは受講中の講座（カリキュラム）の内容をマスターし、その後で“残り時間”と相談の上で購入すべき」だと思います。本書でも頻出分野は取り上げていますから、やはりまずは本書のマスターを優先していただきたいところです。

4 時事対策について

「社会科学対策講座」では、時事（＝最新の情報、情勢）について積極的には取り上げていません。アガルートアカデミー 公務員講座では、時事対策は、本講座と姉妹関係にある『時事対策講座』で扱うという整理をしているためです。

近時の社会情勢に関する話題や最新年度の統計情報等については、『時事対策講座』で取り扱うこととなります。

上記の通り、「社会科学対策講座」と「時事対策講座」は姉妹関係にあります。

姉妹関係とは、「社会科学対策講座→制度の基本的な理解、時事対策講座→社会科学対策講座で勉強していることを前提として、最新情報をプラスする」という関係のことです。つまり、**「時事対策講座」は、「社会科学対策講座」のマスターを前提とした講座となっています。**

時事は教養論文対策や面接対策にも関連してくる重要な内容ですが、時事対策は、基本的な理解・記憶を行う「社会科学対策講座」のマスターがあって初めて成り立ちます。先々の勉強に向けて、まずは「社会科学対策講座」で勉強する内容を、しっかりとマスターしていきましょう！

アガルートアカデミー 公務員講座